

造影剤使用に関する説明と同意書

1. 造影剤の使用目的・方法

今回の検査（MRI）では、造影剤を投与することにより、画像の診断能を向上させ、新たな病変を見つけたり、病変部を明瞭に描出させることにより、詳しい情報を得ることができます。

2. 造影剤の副作用

造影剤は安全性の高い薬ですが、以下のような副作用を生じることがあります。

- ① 軽い副作用（約3%）：かゆみ、嘔気、嘔吐、じんましんなど
- ② 重篤な副作用（約0.03～0.18%）：呼吸困難、血圧低下などのショック症状

3. 問診事項

- ① 現在の身長（　　）cm 体重（　　）kg
- ② 今までに造影検査を受けたことがありますか。 なし あり
- ③ 「あり」の方は、副作用がありましたか。 なし あり
- ④ 「あり」の方は、どのような症状でしたか
かゆみ 嘔気 嘔吐 じんましん 呼吸困難 血圧低下
他、具体的にお書き下さい。（　　）
- ⑤ 何らかのアレルギーがありますか。ある方はどのようなアレルギーですか。
なし あり （　　）
- ⑥ 下記の病気にかかったことがありますか。また現在加療中ですか。
喘息 甲状腺疾患 腎臓病 糖尿病 花粉症 アレルギー性鼻炎
アトピー性皮膚疾患 骨髄腫 褐色細胞腫 マクログロブリン血症
- ⑦ 直近の採血データ（採血日：　/　） Cr _____ md/dl eGFR _____ ml/分 mm²
- ⑧ 女性の方へ。現在、妊娠中あるいは妊娠の可能性はありますか。 なし あり

副作用は、造影剤を使用した直後から出現する場合が大半です。当院では、副作用が起きたときも適切な処置を行える体制を整えておりますので、検査中に何らかの異常を感じましたら、すぐに声をかけて下さい。検査後数日してから、じんましん、かゆみ、嘔気等の副作用が現れることがあります、通常は自然に回復します。症状が続く場合は、ご来院下さい。

上記につき、説明致しました。

担当医

検査に同意頂ければ、以下に署名して下さい。

年　　月　　日　　患者署名

代理人署名

続柄